

尚徳館がオンラインで第1回道場内大会を開催

投稿期日 / 4月26日(日) ~ 28日(火)

主催 / 全日本空手道連盟剛柔会 尚徳館

実行委員長・実行委員長 / 宮國 淳

尚徳館では現在、道場生との対面稽古は休止とし、オンラインによるグループ指導を行いながら、個人向けの指導をメインに活動しております。

このほど、尚徳館の道場生全員と関係者などを対象に、オンラインによる「第1回尚徳館道場内大会うさぎ杯」を開催しました。

稽古の張り合い、励まし合いの精神、自主努力の精神の涵養などを目的として、基本(若年のみ)と形競技を男女混合で競い合いました。学年別や帯の色でもカテゴリーを分けました。また家族による団体形もあります。

基本は、その場正拳中段突きや前屈立ちからの蹴りなど、決められた動作を行います。形競技は、全空連の基本形、指定形、得意形から一つを選びます。

出場方法は、それぞれがこれらの動画を撮影し、道場のグループLINEに投稿することにしました。

黒帯以下のカテゴリーでは、宮國淳(尚徳館代表)と黒帯の道場生が審査員を務めました。3位以内に入賞できなかった道場生には審判員特別賞を用意し、「逆突きの威力への努力を称える賞」などを授与しました。

参加した道場生や保護者からは、「すごく嬉しい。団体もまさかの1位で、頑張ったかいがあった。」「跳びはねて喜んでます。今日も公園へ練習に出かけ



LINEに動画を投稿し、競い合いました。

ました」という感想や、互いの演武を見ることができ、モチベーションの向上につながったなどの感想が寄せられました。

第1回は4月の開催でしたので、卯月にちなみ「うさぎ杯」としました。5月もまた別の名称で開催する予定です。

このような取り組みが、全国の休止中の道場の皆様の参考になり、空手界がさらに活性化の一助となることをささやかながら願っております。(寄稿)

第1回 尚徳館 道場内大会うさぎ杯 大会結果

《基本》

◆幼稚園【優勝】 小木絋里【準優勝】 竹内蒼【第3位】 佐々木彩羽

◆小学1・2年【優勝】 三輪柁太【準優勝】 住谷頼侑【第3位】 殿内寛治

◆小学3・4年【優勝】 飯田演斗【準優勝】 小木聖笑【第3位】 松原航己

◆白帯【優勝】 東澤史佳【準優勝】 竹内蒼【第3位】 佐々木彩羽

《形 個人》

◆幼稚園【優勝】 小木絋里【準優勝】 竹内蒼【第3位】 佐々木彩羽

◆小学1・2年【優勝】 三輪柁太【準優勝】 住谷頼侑【第3位】 殿内寛治

◆小学3・4年【優勝】 飯田演斗【準優勝】 小木聖笑【第3位】 松原航己

◆小学5・6年【優勝】 三輪柚月【準優勝】 正岡陽頼【第3位】 井上睦深

◆中学生【優勝】 村田果音【準優勝】 小林大記【第3位】 三島爽太

◆高校生【優勝】 木下恕維【準優勝】 川口美桜【第3位】 伊藤愛斗

◆一般【優勝】 木下葉子【準優勝】 住谷賢希【第3位】 町田亜紀

◆白帯【優勝】 東澤史佳【準優勝】 竹内蒼【第3位】 佐々木彩羽

◆色帯(白・茶・黒以外)【優勝】 小木絋里【準優勝】 住谷頼侑【第3位】 正岡未央

◆茶帯【優勝】 三輪柚月【準優勝】 飯田演斗【第3位】 三輪柁太

◆黒帯【優勝】 木下恕維【準優勝】 川口美桜 / 村田果音

《形 団体》

◆家族【優勝】 三輪家(父・兄・弟)【準優勝】 小木家(姉・妹)【第3位】 木下家(母・子)

「尚徳館代表・宮國淳の形に特化したオンライン完全個人レッスン」レッスン生を募集

練習ができず、稽古法に困っている全国の形競技者向けに「形に特化した、完全に個人向けでその人専用のオンライン講座」を始めることにしました。

ジュニア選手からマスターズの選手まで、レッスン生の年齢は問いません。伸び悩んでいる形競技者が、現在の困難な状況を逆転させ飛躍するための一助となればと考えています。

お問い合わせ: miyagunisunao-stk01@syoutokukan.com